

国際農業工学 第4回レポート

(1) セクター間の連携の例

授業内でも言及されていたように、セクター間の連携の例として農業と福祉の連携が挙げられる。農業分野での担い手不足という課題と、福祉分野での職域の拡大や賃金の向上という問題を解決するため、農福の連携が図られ、障害者の農作業請負が支援されている。セクター間による連携による一つの利点は、両者の課題を補てんし合い、どちらも利益を得ることができることである。

(2) セクター間の連携について考えること

新たなセクター間の連携として農業と教育の連携が可能だと思われる。海外における開発援助の中で、十分な施設が用意されたとしても、実際にそこで農業を行う住人たちに相応の知識がなければ農業はうまくいかない。農業工学によって灌漑などを行うだけでなく、同時にその土地の住人たちに農業に関する教育を行うことができれば、より効率的に施設を利用することができ、より効果のある開発援助が行えると考えられる。

参考：「地方公共団体等における農福連携の推進体制の構造における分析」
http://www.maff.go.jp/primaff/meeting/kaisai/2014/pdf/01_kichokoen.pdf